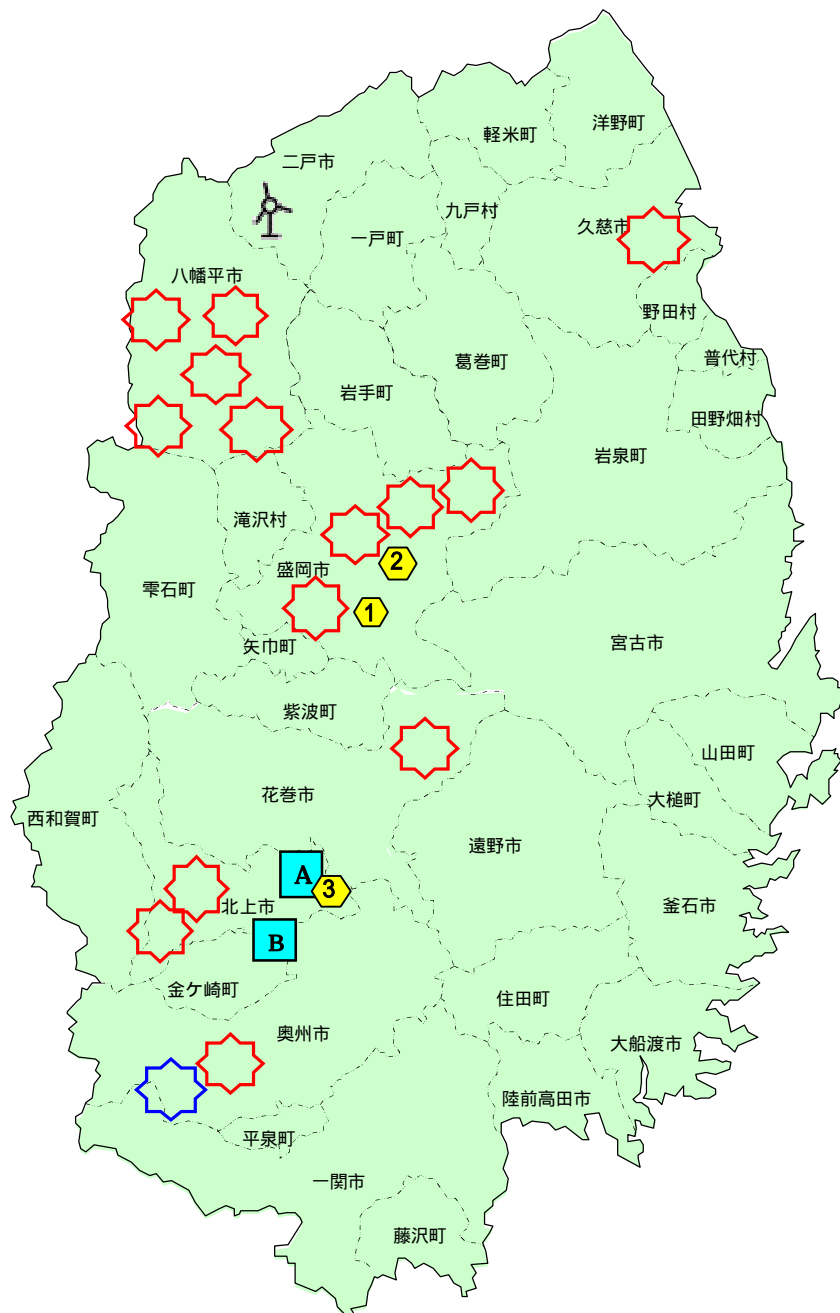


# 企業局施設等の配置図



施設総合管理所： 企業局の全発電施設の集中監視制御による運転監視と県北・県中部にある発電施設の維持保守管理を実施しています。  
 県南施設管理所： 工業用水道施設と県南部にある発電施設の維持保守管理を実施しています。

## 【本局・施設管理所】

- ① 本局（盛岡市）
- ② 施設総合管理所（盛岡市）
- ③ 県南施設管理所（北上市）

## 【電気事業】

### 〔水力発電所〕

〔運転中〕

- 胆沢第二発電所（奥州市）
- 岩洞第一発電所（盛岡市）
- 岩洞第二発電所（盛岡市）
- 仙人発電所（北上市）
- 四十四田発電所（盛岡市）
- 御所発電所（盛岡市）
- 滝発電所（久慈市）
- 北ノ又発電所（八幡平市）
- 北ノ又第二発電所（八幡平市）
- 入畑発電所（北上市）
- 松川発電所（八幡平市）
- 早池峰発電所（花巻市）
- 柏台発電所（八幡平市）
- 北ノ又第三発電所（八幡平市）

〔建設中〕

- 胆沢第三発電所（奥州市）

### 〔風力発電所〕

- 稲庭高原風力発電所（二戸市）

## 【工業用水道事業】

- A** 第一北上中部  
工業用水道事業（北上市）
- B** 第二北上中部  
工業用水道事業（北上市）



岩手県企業局経営総務室  
 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号  
 TEL 019-629-6388 FAX 019-629-6384  
 Eメール EB0001@pref.iwate.jp

お問合せは  
こちらまで！

# 岩手県企業局長期経営方針

## のあらまし

～ 公営企業として成長し続けるために～



岩手県の企業局では、経営の基本理念を踏まえた将来像や、概ね10年後のありたい姿に向けての取組方針などを示す「長期経営方針」を策定しました。

これからの経営についての基本的な考え方は、

岩手県企業局は、  
 今後も電気事業と工業用水道事業を通じて、  
 県民の皆様が豊かで幸せに暮らしていくための  
 お役に立ち続けたいと考えています。

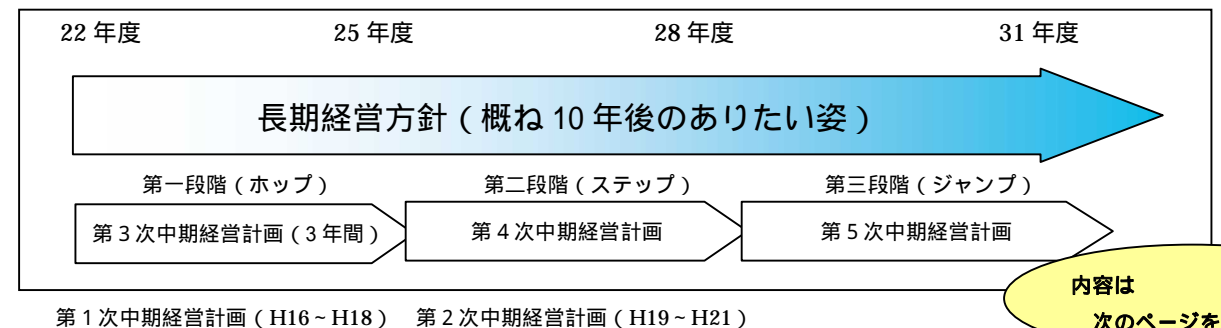
電気事業は、「運転年数100年」をめざします。  
 工業用水道事業は、「自立経営の実現」をめざします。

取組期間は**10年間**です。（平成22年度から平成31年度まで）

具体的な取組を**3期に分けて進めます。**

「概ね10年後のありたい姿」を実現するため、中期経営計画を行動計画として位置づけ、具体的な目標を設定して取り組みます。

取組の構成イメージ



内容は  
次のページを見てね！



# 岩手県企業局長期経営方針の概要

## 企業局の経営を取巻く環境

### 経営改革の推進

中期経営計画による数値目標管理や外部評価制度を導入し、経営改革を推進しています。

### 規制緩和の進展

電力の自由化が進展しましたが、企業局では、電力会社へ長期・安定的に電力を供給することとしています。

### 景気動向

平成 20 年秋以降の世界的な経済不況の影響により、事業を取巻く環境は急速かつこれまでにない規模で変化しています。

### 地球温暖化対策

国が平成 62 年（2050 年）までに CO2 排出量半減をめざすなか、CO2 をほとんど排出しない水力発電に期待が高まっています。



四十四田発電所

## 企業局の役割

（これまで果たしてきた社会的役割）

### 電気事業

約 17 万世帯（県内世帯の約 3 分の 1）に相当する電力の安定供給に加え、農業用水の供給や治水などにも貢献してきました。

中小水力や風力発電の導入に先駆的に取り組んできました。

地域振興や環境保全に係る地域貢献を展開してきました。

年間約 27 万トンの CO2 の排出を抑制するなど、地球温暖化対策に貢献しています。

### 工業用水事業

工業用水の安定供給を通じて、産業振興、雇用機会の拡大、県民所得の向上へ寄与してきました。

良質な水質を維持し、ユーザーの期待に応えてきました。

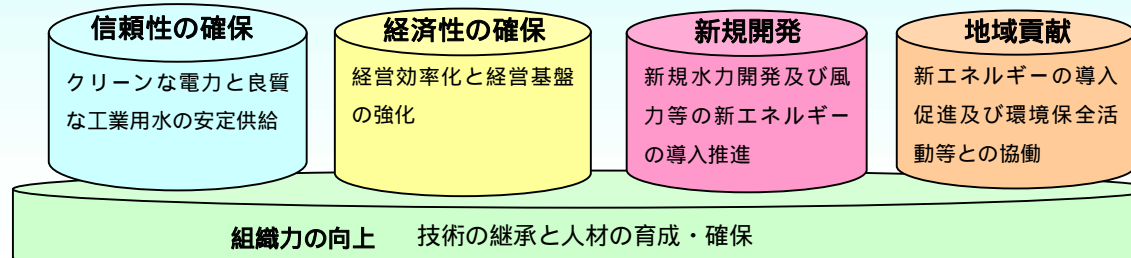


第二北上中部工業用水道施設

## - 基本理念 -

岩手県企業局は、地球環境にやさしいクリーンな電力と良質な工業用水の安定供給に努めるとともに、新エネルギーへの取組を通じた循環型社会の構築への貢献など、時代の要請やニーズに積極的に応え、地域社会の発展と県民福祉の向上に寄与します。

## 経営方針（重視する 5 本柱）



## 長期ビジョン



ここが一番のポイントだよ！

**ゆるぎない決意**  
岩手県企業局は、  
将来にわたり地域社会の発展と県民福祉の向上のため、  
電気事業及び工業用水道事業を継続し、  
県民から信頼・信用される公営企業として成長し続けます。

### 【めざす将来像】

#### 電気事業

- 電力や農業用水の安定供給により地域産業経済の発展と県民福祉の向上に寄与しています。
- 地球環境保全や地域のエネルギー資源の活用促進にも貢献しています。

#### 工業用水事業

- 良質な工業用水の安定供給を通じて、地域産業の発展と県民所得の向上に寄与しています。

#### 組織・職員

- 事業が広く理解され地域社会からの信頼と期待が寄せられています。
- 技術の継承や人材育成が進み、職員一人ひとりの能力が高まるとともに、組織全体の能力が向上しています。

### 【概ね 10 年後のありたい姿】

- 安定経営の維持
- 共同事業者との良好な関係を継続
- 「**運転年数 100 年**」をめざし、施設の計画的な修繕・改良を実施
- 新規水力開発、風力開発を積極的に推進
- その他の新エネルギーも事業化を検討

- 施設更新計画に基づき安定供給を維持
- 他会計からの資金融通を必要としない「**自立経営**」を実現
- ユーザーと共存共栄をめざす事業運営を実現
- 関係機関と緊密な連携

- 企業局事業への理解と認識が県民に浸透し、職員は、県民からの信頼や期待に応えるべく自覚と誇りをもって業務を遂行
- 人材育成の方針や必要な人材の確保が図られるとともに、技術の継承のしくみが構築され、組織体制が充実



稲庭高原風力発電所

## 長期的な課題及び取組の方向性

### 電気事業

#### 施設の老朽化への対応

- 「**運転年数 100 年**」をめざし、計画的に修繕・改良を実施
- 取水施設や導水路等の土木工作物への対応を重点的に実施



岩洞第一発電所

#### 共同事業者との緊密な連携

- 大規模な修繕・改良の実施に当たっては、共同事業者と緊密な調整・連携を確保

#### 新規水力開発・新エネルギー等への取組

- 胆沢第三発電所の建設事業を推進するとともに、新規開発に向けた調査により有望地点を確保
- 新規風力開発は、有望地点の確保のほか、様々な開発手法も考慮しながら事業化を検討

### 工業用水道事業

#### 自立経営に向けた取組

- 入畑ダムの水源転用に伴う資金計画の見直しを踏まえ、他会計からの資金融通を解消するとともに、借入金残高を削減

#### 事業運営のあり方

- ユーザーからの理解と協力を得ながら、安定供給を維持できる事業運営のあり方を検討

#### 施設の老朽化への対応

- 耐用年数の経過時期を迎える送配水管設備等の劣化状況を踏まえ、計画的に修繕・改良を実施

#### 関係機関との緊密な連携

- 新規の誘致企業に関連する施設の拡張や景気の浮沈に伴う動向には、県の関係部局や市町村と緊密に連携して対応



施設見学会

### 共通的事項

#### 地域社会への貢献

- 独自事業や県施策との連携による地域貢献を充実
- 企業局事業の紹介や経営に関する情報公開を推進

#### 技術継承と人材の育成・確保

- 継承すべき技術の整理やその方法について検討を進めるとともに、専門研修体系は、これまでの取組を総括しながら見直しを実施

## ビジョン実現のために

## 中期経営計画

「ホップ・ステップ・ジャンプ」の段階的な取組（第 3 次は平成 22～24 年度の 3 年間）  
具体的な取組目標と行動計画を設定 P D C A サイクルにより持続発展的に事業を推進

「ホップ・ステップ・ジャンプ」でばっちり！

